

第六期第4回あきる野市環境委員会 報告（概要）

- 日 時：令和5年6月27日（火）19：00～21：10
- 場 所：あきる野市役所本庁舎5階 503会議室

1 開 会

- ・事務局より開会の挨拶

2 挨 拶

- ・委員長より挨拶

3 報告事項

(1) 「小さな子どものおさんぽ会」について

- ・ 森のようちえん部会より5月、6月のおさんぽ会について報告
- ・ 次回は7月9日、10組32人で開催予定。

(2) 環境フェスティバルについて

- ・ ブース内容やゴーヤ苗の配布について、感想・反省点をいただいた。
- ・ 来年度の内容を秋以降に進めていく予定。今回の意見を委員と検討していく。

委 員： 頑張ったつもりステージのことが触れられていないことがショックである。

事務局： 今回は委員会のブースについてのアンケートとしていただいている。

委 員： 環境フェスティバルとしての報告ではないのか。どう受け止めていいかわからない部分がある。相当な人数が集まったタイミングもあり、環境とはあまり関係のない子ども達のダンスなどで盛り上がったなど、その多面性をどう評価するのか等、色々あると思われるが、環境省からの参加や中嶋市長もお話に来ていただいたなど、それなりに実のあることができたと言える部分はあったと考えている。

委員長： 舞台があってよかったというのが自分の感想である。しかし、環境フェスティバルは認知度が低い。

委 員： ポスターをしっかりと貼ってもらえたことはすごいことである。

委員長： その点はよかった。先日、日本青年会議所の東京都のブロックのイベントが小和田グラウンドと河川公園であった。河川公園のフードコーナーでは、キッチンカーなどもあり、食べ物の人気投票をやる等、人が集まっていた。そのようなものも、人寄せの面白さということがある。小和田の方は、気球が飛んでいるうちは人がたくさん集まっていたが、午後は減っていた。環境

フェスティバルも同様に、午後は課題だと思った。もう少しゆっくりできるものをこれからも検討していかないといけない。

委員： 子ども達のダンスは、もう少し遅い時間にしてほしいと言われていたが、終わりが早い時間なので、中嶋市長のお話をそれなりにしていただくと思うと、あれ以上後ろにというわけにもいかなかった。開催時間はもう少し、30分、1時間でも遅くできれば、集客としてのダンスの時間が一緒にずれてくるので、午後の課題が少し解決できるのではと考える。

委員長： この点は実行委員会で検討していきたい。ご意見あれば、実行委員、事務局までいただきたい。フェスについては以上である。その他情報提供があるので、先に情報提供の資料を事務局から説明していただきたい。

4 その他

- ・ 条件付特定外来生物（アメリカザリガニ、アカミミガメ）の規制について
- ・ クビアカツヤカミキリの成虫が確認され始めているため、発見時の処分に協力をお願いしたい。目撃情報や、被害が疑われる木があった場合は環境政策課に連絡していただきたい。
- ・ クビアカツヤカミキリ対策事業の補助について。クビアカツヤカミキリの被害を受けた木の防除や薬剤の散布、枯れてしまった木の伐採などに対し、木の所有者や管理者に費用の一部を補助する制度である。該当しそうな方や近所に該当箇所があれば、この制度について案内していただきたい。
- ・ ナラ枯れ対策事業の補助について。所有者、管理者に伐採や防除に対して補助金交付の制度を実施している。心配な木などあった場合は、所有者に環境政策課環境の森推進係を案内、相談いただきたい。
- ・ ごみの出し方の変更について。充電機が取り出せない小型家電・おもちゃなどが不燃ごみから有害ごみに変更となった。
- ・ ごみの関係について「さんあ〜る」というアプリがある。活用いただきたい。
- ・ 東京都の事業紹介
 - * ゼロエミポイントについて
 - * 「みんなのおうちに太陽光」太陽光パネル・蓄電池の共同購入期限延長（8月22日まで）について
 - * かんきょうマンダラートについて。全小学校長宛に案内を通知した。
- ・ オオブタクサ除草作業を7月22日（土）8時～10時実施予定。ボランティアの募集を広報あきる野7月1日号に掲載する。都合がつく委員は協力をお願いしたい。
- ・ 里山保全担い手養成講座を5月14日（日）に横沢入里山保全地域で開催した。次回は7月23日（日）平井川でガサガサ調査（水生生物調査の体験）を行う予定。
- ・ グリーンカーテンの写真募集について、広報あきる野7月1日号に掲載する。環境フェスティバルで配布した苗を育てていただいているかと思う。投稿の協力をお願いした

い。

- ・ 環境委員同士のメールアドレスの共有・登録について、確認がとれた委員に一斉メールを送信した。情報共有などに使用いただきたい。情報共有の際は「全員に返信」で活用をお願いします。

5 議 題

(1) 「第二次あきる野市環境基本計画等 施策進捗状況調査票」について

- ・ 「環境白書」について説明
- ・ 「環境白書」の点検作業について説明
- ・ 説明終了後、グループごとにワークショップ形式で自己紹介やリーダー・書記決めを行った。

委 員： 環境という、現場や現実と向き合う活動の確認であるが、全て書面上の情報とメールのやりとりで基本的には活動してほしいという内容である。改めて説明を聞くと不思議に思う。色々な意味で大変であると考え。委員長に質問だが、去年までこの手法で、例えばエネルギー関係で6ページ半細かい字が並んでいるが、各回答のチェックをするのにだいたい何回ほど集まるものであるか。

委員長： ここ3年くらいはコロナ禍で集まりはなかったが、その前では多いところで4回程集まっているところがあった。委員会としてのとりまとめであるので、とりまとめシートはグループとして、こういう形があるべきで、こう変更していくことが必要なのではないかととりまとめた。質問や意見ではなく、グループとしての「こうあるべきではないか」ということである。それがとりまとめシートである。要望ではなく、市に提言をしていくようなものをとりまとめシートとしてまとめた方がいいか考える。質問はどんどん出してもらっていいが、まとめるときに時間がかかる。

委 員： 多い時は4回というと、質問を出す前に必ず1回は集まる、最低でも2回集まる。質問に対して回答が返ってきて、また最低でも1回は集まるということと最低2回、ということで4回くらい昔はやっていた。その回数ややり方は各グループとそのリーダーによって、ということであるか。

委員長： そうである。仕事があり全員で集まるのが難しい部分もある。メールやファックスなどの通信を使い実施するグループが多く、各班にやり方は任せている。前期はコロナ禍であったため、通信機能を使っていた。会場も事務局で用意してもらえ。事務局としての考えはどうか。

事務局： コロナ禍でZoomなど多く使われるようになってきている。グループの中で管理できる方がいれば、今までになかった方法として活用できるのではと考える。

委員長： 集まることは4、5人でも大変だと思われる。

事務局： 皆さんが良いと思うやり方、移動時間を省略できるなどもあるので、各グループで調整いただきたい。

委員長： 4期くらいまでは、グリーンカーテンコンテストの現場確認も行っていた。夏に集まって現場を見に行き、写真を撮り、それを集めたものを全員で評価をしてもらって最優秀賞、優秀賞など決めていた時代もあった。現在はなくなったので、白書だけが委員会のほかに委員が集まる場所となっている。各グループでやり方を決めていただいている。

事務局： そのとおりである。前期はコロナ禍で集まれなかったが、その前は各環境分野と人の活動分野を全員で行っていた。今回から委員長提案で人の活動分野については委員長、副委員長で確認する形となり、今回は4つの分野で分けた。分野によって項目数は違うが、興味があって選んだ分野であると思われるのでよく見ていただきたい。

委員： 例えば新型コロナ対策等で事業を中止した、のようなところはBになっているが、ABCの基準があるのか。

事務局： 資料に評価基準をまとめているが、今回コロナの関係で事業が中止した場合は、Bで統一している。

委員長： できないものは評価しなくていいと去年言った。今後はそのような対策も含めて案を作るべきである、という意見は出した。この後はグループに分かれて話し合っていていただく。事務局にお願いします。

※5(2)のワークショップ後、各グループの役割決めを行った。

(2) 令和5年度「知る」活動について

- ・ ワークショップ形式で、「知る」活動の候補について話し合いを行った。実施したい候補を1人2つ提出。今後結果を事務局で集約し、検討を進める。

(3) 新省エネ型生活10か条について

- ・ 時間の都合上、次回以降の議題として扱うことになった。

6 閉会

- ・ 副委員長より閉会の挨拶